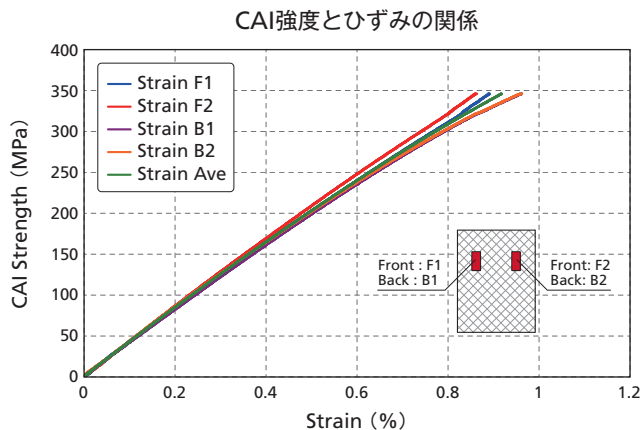


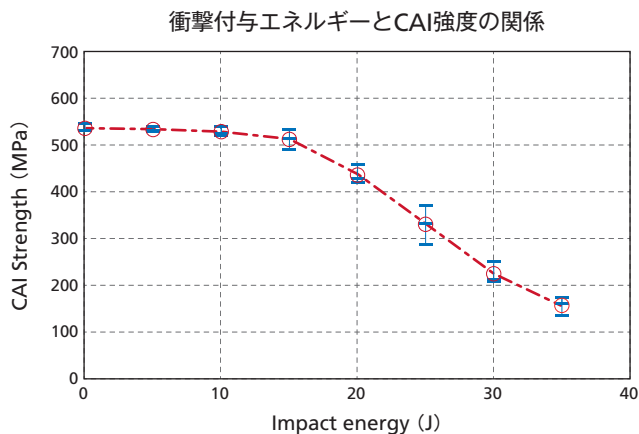
》》 アウトプット例



- 複合材への衝撃付与後、面内圧縮荷重を与える。
- 高い技術力にて、できる限りの軸芯調整を行った上での圧縮試験。
- 残存圧縮強度および圧縮弾性率を評価する。

ポイント!

損傷が入った状態での、その複合材特有のひずみ分布と耐荷重の関係性が把握できる。



- 超音波探傷で衝撃付与による試験片への損傷面積を評価する。
- 衝撃付与エネルギーをパラメーターとして圧縮試験を行う。
- 残存圧縮強度と衝撃付与エネルギー（もしくは損傷面積）の関係性を把握する。

ポイント!

損傷具合による強度低下が定量化でき、その複合材が許容可能な衝撃エネルギーが把握できる。

》》 その他複合材関連試験

当社は、CAI試験のみならず様々な複合材の試験に対応可能です。対応可能な試験の一例を以下に示します。詳細についてのお問い合わせは当社までご連絡ください。

